

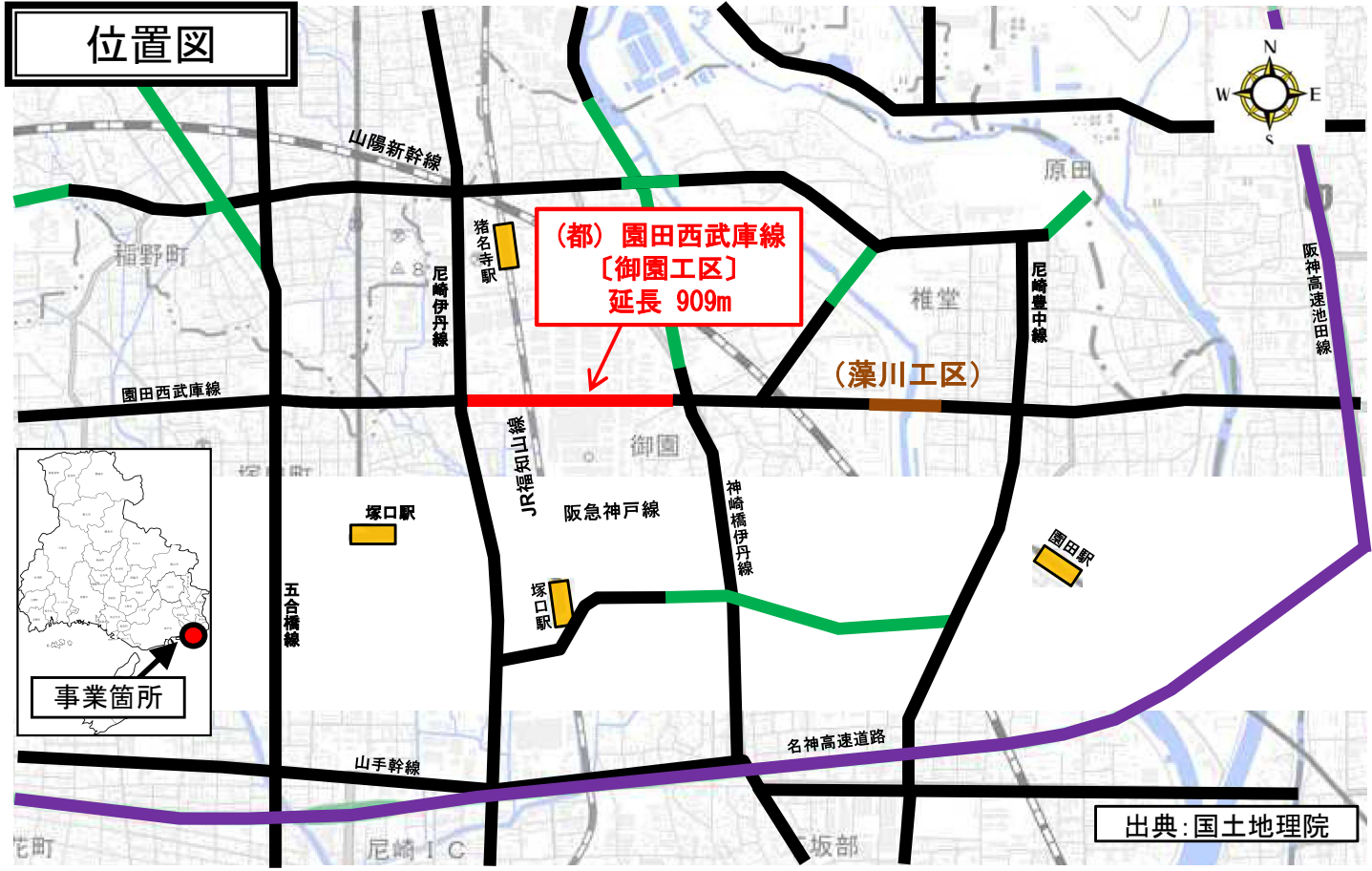
部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 古川 雅一 (主幹(街路担当)金澤 真文)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	新規評価年度	—	現計画	前回評価時点
事業名	都市計画道路事業 園田西武庫線 (御園工区)	事業採択年度	平成9(1997)年度	総事業費	210億円
		着工年度	平成9(1997)年度	内用地補償費	108億円
		再評価年度	平成18(2006)年度 平成23(2011)年度 平成28(2016)年度	完成予定年度	令和5 (2023)年度
事業区間	尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目	進捗率 (用補進捗率)	94% (100%)	30% (40%)	
		残事業費	12億円	138億円	
事業の目的				事業内容 (H28) 前回評価時点	
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部における東西幹線道路である。 尼崎北部では、大阪府と連絡する東西道路ネットワークが脆弱なため、周辺道路では慢性的な交通渋滞が発生している。 このため、本路線で整備が残っている本工区と藻川工区を合わせて供用し全線開通することにより、都市内交通の円滑化と都市防災機能の向上を図る。 				道路改築 L=90.9m JR福知山線とは、立体交差 【現況幅員】なし 【計画幅員】車道6.0m〔全幅18.0m〕 2車線+両側自歩道 【計画交通】9,300台/日(9,100台/日) 【負担割合】国:1/2,県:1/4,市:1/4	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ① 工事費について仮設工法の変更、埋蔵文化財本発掘調査等の追加により、全体事業費を約12億円増額する。				
進捗状況	① 用地買収完了。 ② 令和元年度よりJR交差77°コーナ部の工事に着手。 ③ 藻川工区は平成26年度より工事着手している。(進捗率94%)				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針 (H28年度再評価)	【審査会意見】 当工区と藻川工区の整備により本路線全線が供用となり、大阪府と連絡する東西ネットワークが形成され、都市内交通の円滑化や都市機能の充実といった相乗効果を発揮するため、両工区の早期供用に努められたい。		【対応方針】 本路線の効果を発揮するため、藻川工区も含め本工事の推進を図る。		
(1) 必要性	① 本路線の北側に並行する猪名寺椎堂線のJR前畑踏切（「踏切すっきり安心プラン」問題踏切）など、周辺道路では、慢性的な交通渋滞が見られる。本路線の整備、JRとの立体交差化により、交通渋滞を緩和し交通の円滑化及び交通の安全を図る必要がある。 ② また、阪神高速道路や大阪内環状線とのネットワークの強化による緊急物資等の円滑な輸送、避難場所(園田小・中)へのアクセス性を高めるなど災害時の都市防災機能の向上を図る必要がある。 ③ JR福知山線及びその沿道に集中する工場群により、東西に分断された市街地の地域間交流、活性化を図り、また周辺駅（JR猪名寺駅、塚口駅、阪急塚口駅）や大規模集客施設、周辺公共施設等へのアクセス性を向上させることができる。 ④ 市の自転車ネットワーク計画におけるネットワーク補完路線であり、自転車歩行者道の整備により、自転車走行空間を確保することができる。				
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	① 費用便益比B/C=2.2(全体)(前回B/C=2.5)、B/C=41.8(残事業) ② 事業完了後の現道(県道西宮豊中線)の管理引継については、尼崎市の合意を得ている。 ③ 地元より早期整備の要望がある。				
(3) 環境適合性	① 車道は低騒音舗装、歩道は透水性舗装を行い、沿道環境に配慮することとしている。 ② 市街地内の通過交通をバイパスへ転換することで、走行速度の改善、交通分散できることから、大気に与える影響を軽減できる。				
(4) 優先性	① 本路線で整備が残っている本工区と藻川工区を供用することにより、大阪府と連絡する東西ネットワークが形成されることから、早期に供用を図る必要がある。				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、用地買収が完了し、本工事に着手しており、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第4回〕）

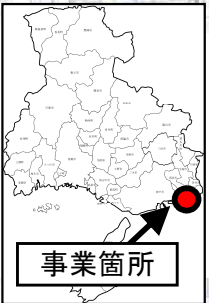
事業名	街路事業	路線・河川名	(都) 園田西武庫線 (御園)
<p>事業箇所</p> <p>凡例 — 当該箇所 — 事業中他工区</p>			
事業進捗状況・予定		整備効果	
全体 H9(1996) ~ R5(2023)	【事業費＝210億円】 延長：909m 物件補償：9件、用地：9件 18,199m ²		
前回再評価 まで (実績) H9～H28	【事業費＝64億円】 ・用地補償全件契約完了（100%契約済） ・JRと施工協定を締結し、交差部工事着手		
過去5年間 H28(2016) ~ R3(2021)	【事業費＝134億円】 ・JR交差部工事完了 ・JR交差アプローチ部工事着手 ・土地開発公社からの買戻し全件完了		
今後2年間 (予定) R4(2022) ~ R5(2023)	【事業費＝12億円】 ・JR交差部アプローチ部完成予定 ・令和5年度に全区間完成予定	「踏切すっきり安心プラン」に位置づけられた、ボトルネック踏切前畑踏切など周辺道路の渋滞が緩和される。また、大阪府と連絡する東西道路ネットワークの強化による都市防災機能が向上される。	

街路事業 都市計画道路 園田西武庫線〔御園工区〕

位置図



(都) 園田西武庫線
〔御園工区〕
延長 909m



目的

- ① 尼崎市北部市街地における都市内交通の円滑化
- ② 大阪府と連絡する東西道路ネットワークの強化による都市防災機能の向上

事業概要

事業区間： 尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目
 総事業費： 210億円
 内用地補償費： 108億円
 事業期間： H9～R5
 事業概要： バイパス整備
 延長： 909m

凡例

- : 事業中の都市計画道路
- : 他事業区間
- : 未整備の都市計画道路
- : 整備済の都市計画道路
- : 自動車専用道路

横断図



